

2023年5月1日

協議会委員各位

沖縄県がん診療連携協議会
幹事長 増田昌人

今年度の協議会活動の重点事項について

前回の協議会において、今年度に重点的に取り組む事項について、以下の5項目に決定した。各項目について、どのように進めていくのかについて、今回の幹事会において協議をお願いしたい。なお、前回協議会では委員から、それぞれの項目の進捗状況と評価を行うようにとの意見があったので、今年度の協議会で毎回進捗状況を報告する予定である。

1 第4次沖縄県がん対策推進計画について、沖縄県へ提案する

ロジックモデルを用いて「第4次沖縄県がん対策推進計画(協議会案)」を作成し、沖縄県へ提案する。

➡ベンチマーク部会が主管して、計画(協議会案)を作っている(本日の協議事項4ご参照)

2 各専門部会のやるべきことを、改めてロジックモデルを用いて再定義する

「第4期がん対策推進基本計画(案)」と「新しい指定要件」を参考に、各専門部会でやるべきことを協議する。年間計画や、協議会での報告に関しても、ロジックモデルのどこに相当するものなのかを意識して報告するようにする。

➡6つの部会、それぞれの今年度最初の会議にて、年間計画をロジックモデルを用いて再定義しつつある。

3 協議会でやっている事業を始め、種々の評価指標が迅速に出るようにする

院内がん登録だけではなく、種々のデータが参照できるようにする

➡事務局(がんセンター)において、全国のがん医療のデータを一つにまとめたソフトを開発した。

今後、どのように利用していくかを検討中である。

4 感染症のまん延や災害等の状況においても必要ながん医療を提供する体制を確保するため、BCPをまとめる

これまでの新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえて、二次医療圏ごとに事業継続計画を策定する。

➡まだ着手していない。医療部会が主管となって作成をすることが、第1回医療部会で決定した。

5 精検受診率、特に大腸がんの精検受診率を向上させるために働きかける

➡大腸がん死激減プロジェクトが主管となって、改めて協議を開始した。